

令和8年10月13日(火)
香川県教育委員会事務局
生涯学習・文化財課
担当 文化財 G 佐々木(内線 5346)
電話 087-832-3314

**香川県指定有形民俗文化財「冠纓神社の大獅子」が
26年ぶりに奉納されます**

標題のことについて、情報提供がありましたのでお知らせいたします。詳細は別添をご覧ください。

報道機関の皆さま

県指定有形民俗文化財

『冠纓神社の大獅子』を 26 年ぶりに奉納します

高松市香南町に伝わる「冠纓神社の大獅子」は、池内大獅子と古川大獅子の二つからなります。古川大獅子は天保年間頃に始まったとされ、明治 24 年（1891）に現在の頭に作り替えられました。池内大獅子は明治中期に前身となる大獅子が作られ、大正 4 年（1915）に現在の大獅子が製作されました。昭和 45 年（1970）4 月には、香川県指定有形民俗文化財に指定されています。

これらの獅子は、正式な運行としては平成 12 年に、一時的な運行としては平成 18 年に行って以降、長らく体制が整わず、運行できておりませんでした。地域のご賛同をいただき、正式な運行としては 26 年ぶりに奉納する運びとなりましたので、大変お忙しいとは存じますが、ご取材のほどよろしくお願いいたします。詳細は別紙にてご確認ください。



参考：平成 5 年東四国国体開会式時（香川県教育委員会提供）

大きいもの：池内大獅子／小さいもの：古川大獅子

【その他皆様へのご連絡】

- ・ かつては大獅子の奉納に加えて、^{やっこ} 奴組の奉納等を行っていましたが、今回は大獅子のみ奉納する予定です。なお、奴道具の展示等は合わせて実施する予定です。
- ・ 老若男女有志一同で受入体制の準備に努めておりますが、26 年ぶりの奉納であり、かつての姿を学びながら準備を進めております。至らない部分も多いかと存じますが、温かく見守っていただければ幸いです。

お問い合わせ先：冠纓神社池内地区総代 西村（090-2825-6982）

※日中は出られないことがありますので留守電に登録ください。折り返し連絡します。

香川県指定有形民俗文化財

大獅子

復活

冠
纓
神
社

秋
祭
り

二十年以上の時を経て、
日本一の夫婦大獅子が、

ふたたび町に。

令和8年

10/25 日

神事 11時~/池内大獅子、古川大獅子御下がり及び
丸岡原獅子組・吉光獅子組 奉納 12時~14時

会場 冠纓神社 (高松市香南町由佐1413)

当日は臨時駐車場をご利用ください。

駐車場内での事故・盗難等につきましては、主催者では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

スケジュール

11:00	神事
12:00	地区小獅子(本殿前にて) 池内 & 古川大獅子
12:30	池内 & 古川大獅子 御下がり
13:15	遊衣館由緒前 到着
13:20	地区小獅子 遊衣館由緒前
13:50	記念撮影
14:00	獅子関係片付け
15:00	終了



受け継がれてきた香南の夫婦大獅子

高松市香南町の由佐と池内に伝わる「二頭の大獅子」は、冠纓神社の秋祭りを象徴する存在です。池内の男獅子に対して由佐の女獅子と呼ばれ、夫婦獅子のように親しまれています。その姿は、まさに庄巻。大きな獅子頭と長いユタンの中に十数人が入り、舞いながら練り歩きます。高松市も「県下で最も大きな獅子」と紹介しており、秋の祭礼を彩る名物となっています。この大獅子は、香川県指定有形民俗文化財に指定され、香川県の文化財「覧」にも「冠纓神社の大獅子」として二頭が記録され、地域に受け継がれてきた貴重な民俗文化財として守られています。長い時を経て、いま再び大獅子が人々の前へ。受け継がれてきた祭りの記憶を、次の世代へ。この地域が大切にしてきた文化がもう一度動き出します。その勇壮な姿をぜひご覧ください。

冠纓神社案内図



臨時駐車場案内図

